

報道関係各位

水の大切さを子どもたちにも伝えていきたい
(ダルビッシュ有)



ダルビッシュ 有 水基金

<COVID-19 と水>第14号プロジェクト開始

特定非営利活動法人日本水フォーラム（認定NPO法人、東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、2020年11月より、「ダルビッシュ 有 水基金」第14号プロジェクトを以下概要のとおり実施致します。

「ダルビッシュ 有 水基金」第14号プロジェクト実施概要

- 場所：パキスタン ハイバル・パフトゥンハー州 マルダン県 の一地区
- 期間：2020年11月～2021年5月（予定）
- 受益者数：地域住民、約600世帯

○実施内容：

- ・地域の自主組織を立ち上げ、地元自治体と連携しながら、管理の不十分な水道設備を修理・改良する。
- ・手洗い設備を設置し衛生教育を開始する。
- ・将来の維持管理のための地域のコミュニティを形成する。

○アウトカムイメージ：右図

このプロジェクトは、持続可能な開発目標（SDGs）の目標6等の達成に貢献します。

○実施の背景等：

配水設備が老朽化し漏水が頻繁に発生していた状況下で、COVID-19感染拡大に見舞われた地域での事業。地元自治体の水道事業の限界を、COVID-19を契機に、マルチセクター連携で突破しようとするプロジェクトである。事業の成果として地域の各世帯への給水状況を改善し、感染予防対策となる衛生習慣が普及することが期待される。



【ダルビッシュ 有 水基金】とは

2007（平成19）年3月、ダルビッシュ有投手（現MLB シカゴ・カブス所属）は、日本水フォーラムと協力して、水不足や水の汚染等に苦しむ発展途上国の人々に安全な水を提供することを目的に、「ダルビッシュ 有 水基金」を設立しました。詳しくは日本水フォーラムウェブサイトをご覧ください。www.waterforum.jp